

鹿児島大学病院リハビリテーション部



療法士レジデント 臨床研修プログラム

信頼される理学療法士へ。

学び続けられる理学療法士へ。

■ 鹿児島大学病院リハビリテーション部

整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、消化器外科などの術後患者や、脳卒中・急性心筋梗塞をはじめとする急性期疾患に対し、早期から積極的なリハビリテーションを行っています。ICUや救急病棟には専従の理学療法士を配置しており、重症患者に対しても迅速かつ高度なリハビリテーションを実践できる環境が整っています。

また、小児から高齢者までの血液疾患や脳腫瘍などのがん患者に対して、緩和ケアチームと連携しながら病期や発達段階に応じたリハビリテーションを提供しています。さらに、当院には回復期病棟を有しており、急性期から回復期まで一貫したリハビリテーションを経験することが可能です。多様な疾患・病期を通じて、幅広い臨床経験を積むことができる環境が整っています。

・ 令和7年度診療実績

リハビリテーション処方件数 4109件

・ 届出基準

脳血管疾患等リハビリテーション料 |
運動器リハビリテーション料 |
心大血管疾患リハビリテーション料 |
呼吸器リハビリテーション料 |
廃用症候群リハビリテーション料 |
がん患者リハビリテーション料



■ なぜ、レジデント制度か

幅広い経験を通じて、自分の進む道を見つける

在学中の臨床実習で経験できる分野や症例は限られており、卒業時点では自分に本当に合った専門分野を明確に決めることは容易ではありません。

また、初期の経験はその後のキャリアに大きく影響します。

整備された研修制度を通じて、“リハビリテーションの専門家”としての確かな土台を固めるための支援がレジデント制度です。

■ 当院のレジデント制度の特徴

実地・座学研修から学術研修まで、 幅広い経験が、将来の選択肢を広げる

- 整形・中枢・呼吸・循環・がん・小児など幅広い分野を経験
- ICUなどの超急性期から回復期までを一貫して経験
- 地域研修により地域医療にも触れる機会
- 指導體制のもとで症例報告・学会発表などの学術活動を経験
- 大学院との両立が可能
- 多様な経験を踏まえて自分の専門分野を選択可能

高齢者の増加に伴い、担当患者さんのマルチモビディティ（他疾患併存）の割合が増加しており、理学療法士には幅広い知識が必要とされています。特定の分野に偏らず、バランスよく経験を積むことで、提供する理学療法の幅や将来の選択肢を広げることができます。

■ 制度の特徴とプログラム

多様な分野をローテーションしながら経験

各分野を一定期間ごとにローテーションすることで、幅広い臨床経験を積むことができます。経験を重ねながら、幅広い対応力と自身の興味や進む道を見極めていきます。

ローテーションの例

	1年目												2年目											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
臨床研修	シャドウ					指導者の診療補助・見学（適宜）																		
整形																								
中枢																								
呼吸																								
循環																								
救急・ICU																								
回復期病棟																								
がん																								
希望分野																								
地域研修（外部）																								

■ レジデント向け研修

経験豊富な専門スタッフからの講義

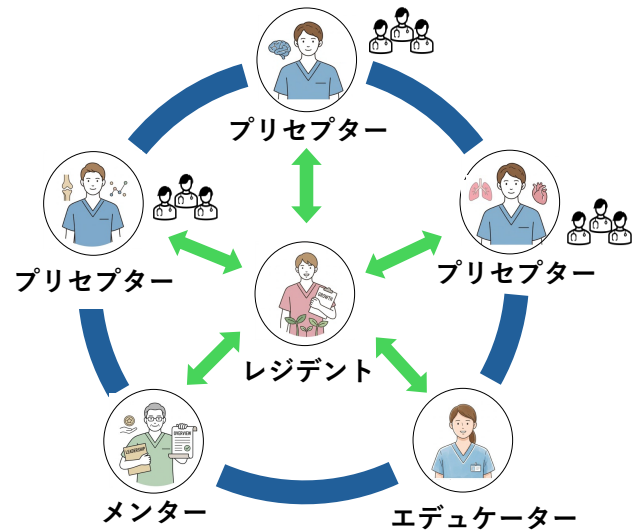
	1年目	2年目
4～6月	接遇、感染対策、 医療安全研修、吸引研修 リハビリテーション医学	救急・集中治療領域
7～9月	BLS・急変時対応 クリニカルリーズニング 疾患各論（整形・中枢）	症例報告会 回復期リハビリテーション 促通反復療法
10～12月	疾患各論（がん） 物理療法 動作介助・ポジショニング	
1～3月	疾患各論（呼吸・循環）	学会発表

各専門分野の指導者による講義に加え、臨床能力チェックリストを活用しながら学習を進め、習得した知識は、日々の臨床現場でのOJTを通じて実践し、知識と技術を結びつけていきます。また、院内の安全管理や感染対策に関する研修（WEB）も定期的を受講し、医療人として必要な基礎力を養います。さらに、月2回のJournal Club（文献抄読会）に参加し、最新の知見を学びながら、根拠に基づいたリハビリテーションを実践する力を高めていきます。

■ 教育体制

多方面からのサポートで成長を応援

安心して成長できるよう「プリセプター・エド
ケーター・メンター」の三つの役割でサポートします。
日々の基本的業務や悩みはエドケーター（臨床経験
3年以上）が身近な存在として支え、各分野のより専
門的な指導はプリセプターが担当します。さらに、メ
ンターが制度全体の進行管理や将来のキャリア相談な
ど、中長期的な相談役として支援します。



■ 2年後のイメージと進路

自信を持って、自分の専門分野へ

- ・ 幅広い分野に対応できる臨床力
- ・ 急性期から回復期までの一貫した理解
- ・ 他職種と連携できる実践力
- ・ 学術的視点を持ち、自ら学び、考え、実践できる療法士

レジデント修了後は、大学院への進学（学士保有者）、総合病院、急性期病院、回復期病院、地域・在宅などの生活期のリハビリテーション領域が想定されます。

施設見学やプログラムに関する質問など、お気軽にお問い合わせ
ください。



問い合わせ 鹿児島大学病院リハビリテーション部
レジデント担当 野島
TEL：099-275-5704（リハビリ室直通）